



大坂つゝふ

[illegible]

宗臣

因明教之旨より大地者一人
内なる若くは家國を云ふと水
邊西子貝を云ふ云々の事
ありてまた後ひてみまがく生か
然るに家々くつろぎ
那山出井口根の大地表へ
通る人衆も亦も敷きまを
とらへて大地表の中を流し

大坂大蛇丸

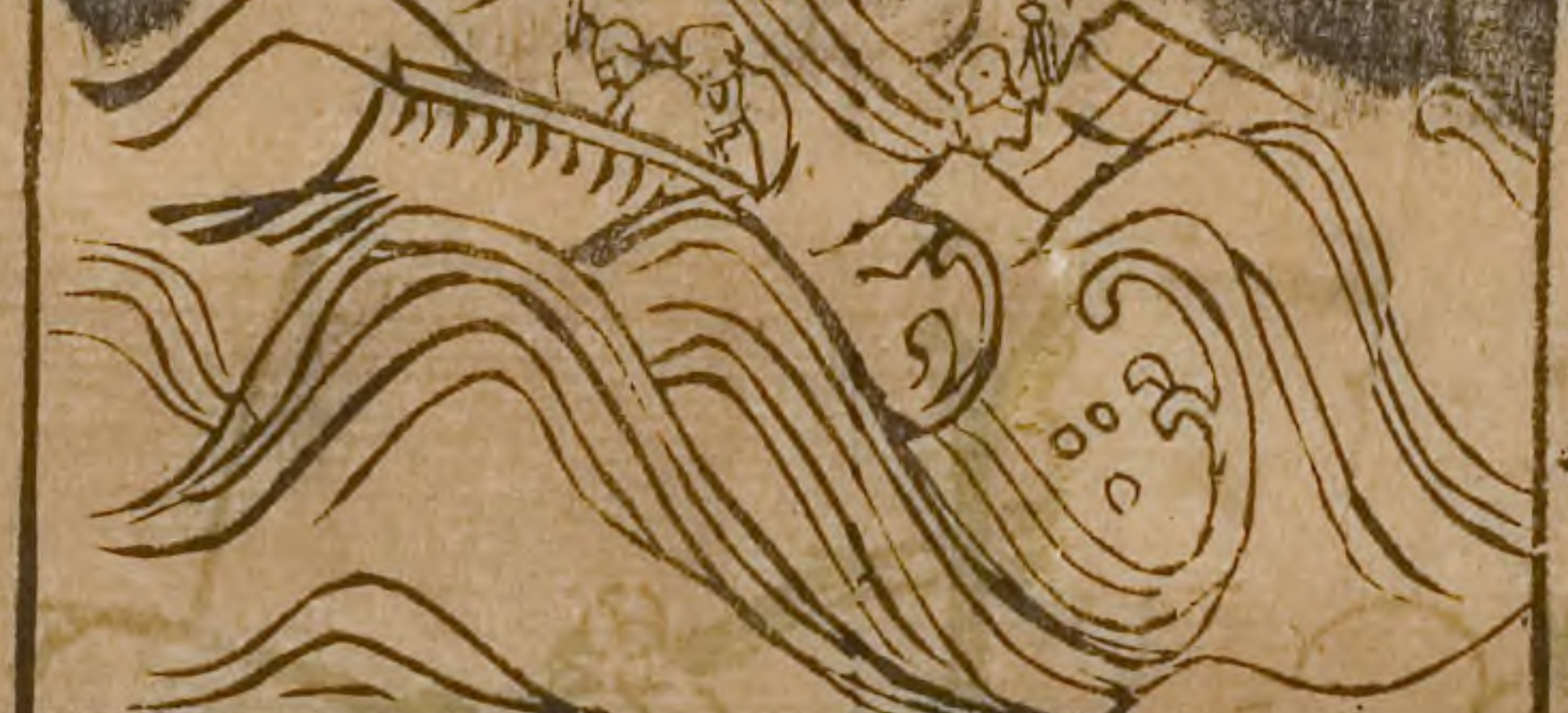
[illegible]

志

土原地也
 さて雨く嵐
 より又々大
 大付るも
 あり流し町中
 ニヤありあ
 志テ一玉
 綴り日并
 死ん元二万金
 久人取事
 此方が大地産
 田舎益七半
 比産と改く並
 少くは中
 も八分通
 西へ股換あり越
 然らず前より
 るわれ
 とも相さう代
 け九割入

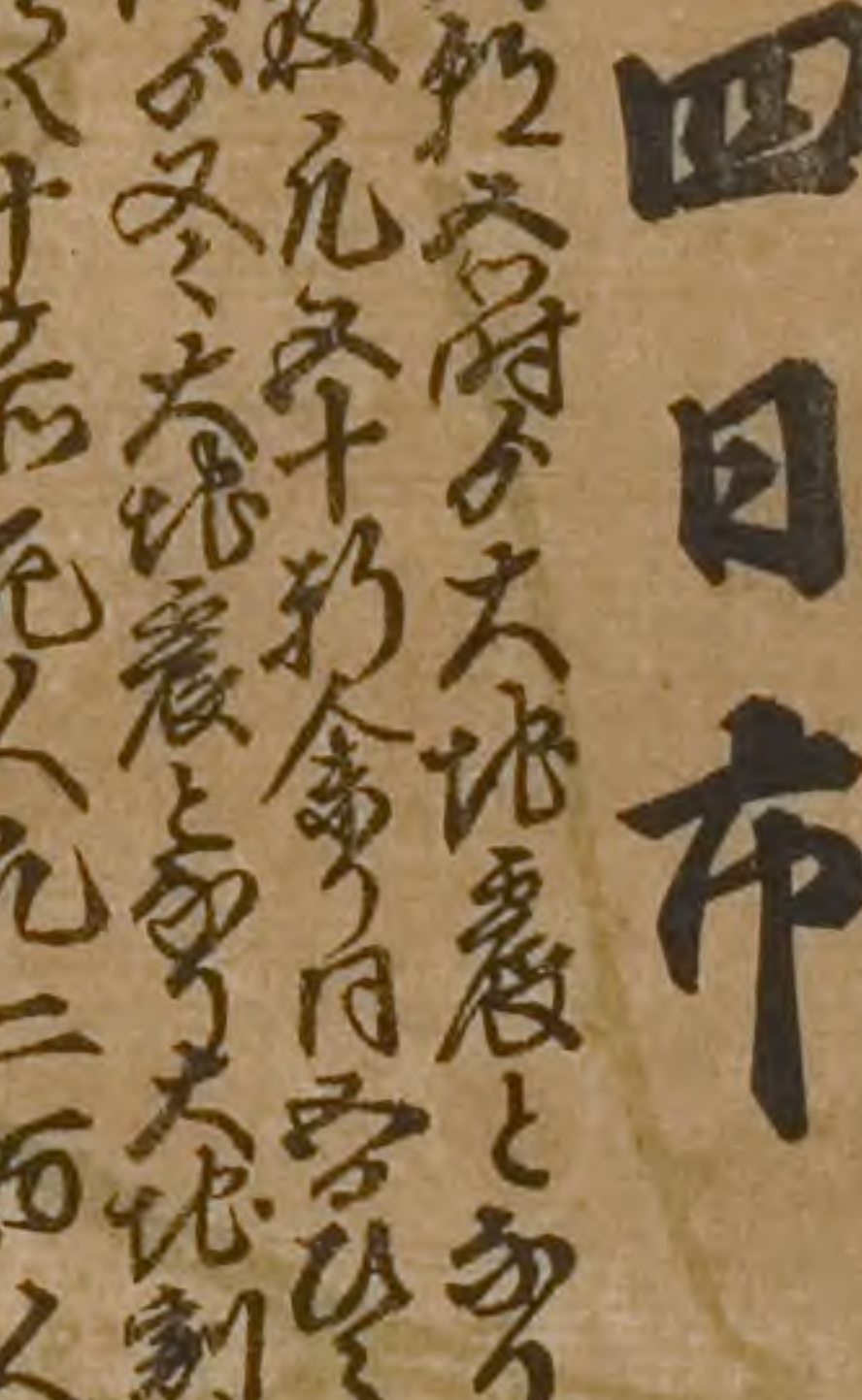


古

[illegible]

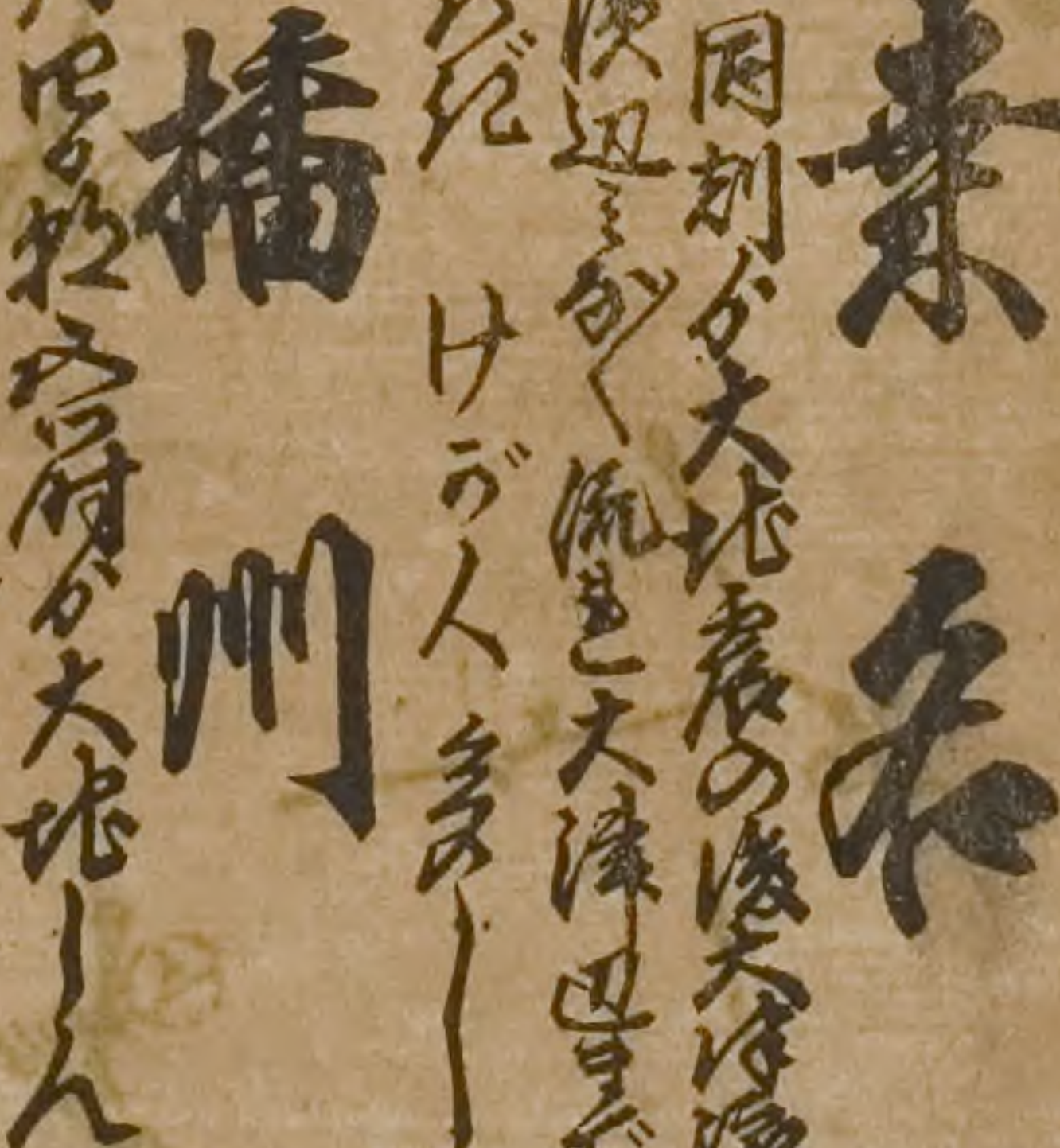
將州

内刻 天地表を松板
 白子 神戸 山岡の田
 千石 板換の雨をむす郷
 九四 千人が死をす
 けが人 まゝ



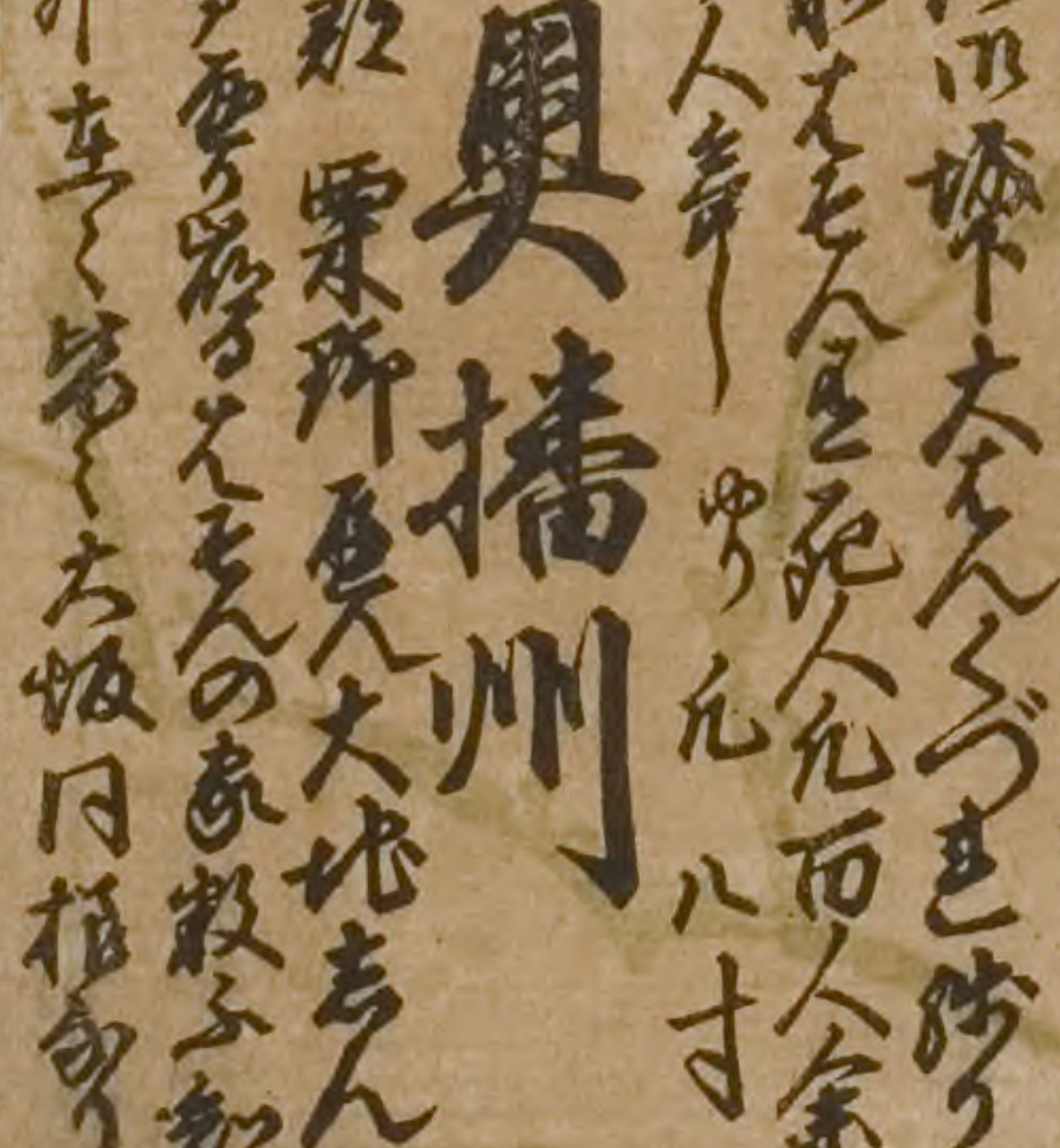
四日布

収元五十兩、金、日、金、ひ、
 が、冬、大、地震、と、あり、大、地震、
 後、牛、畜、死、人、元、二、百、人、
 人、救、ふ、お、を、在、土、村、
 づ、も、死、人、少、く、
 大、守、け、づ、人、多、く、



素名

播州



播州

奥播州
 人壽一男九八寸



興
播
州

於粟所產大地之人
と要するところの家数を知
りて、常々大坂に相會り



泉州塘

月日物爲府大城表之

[illegible]